

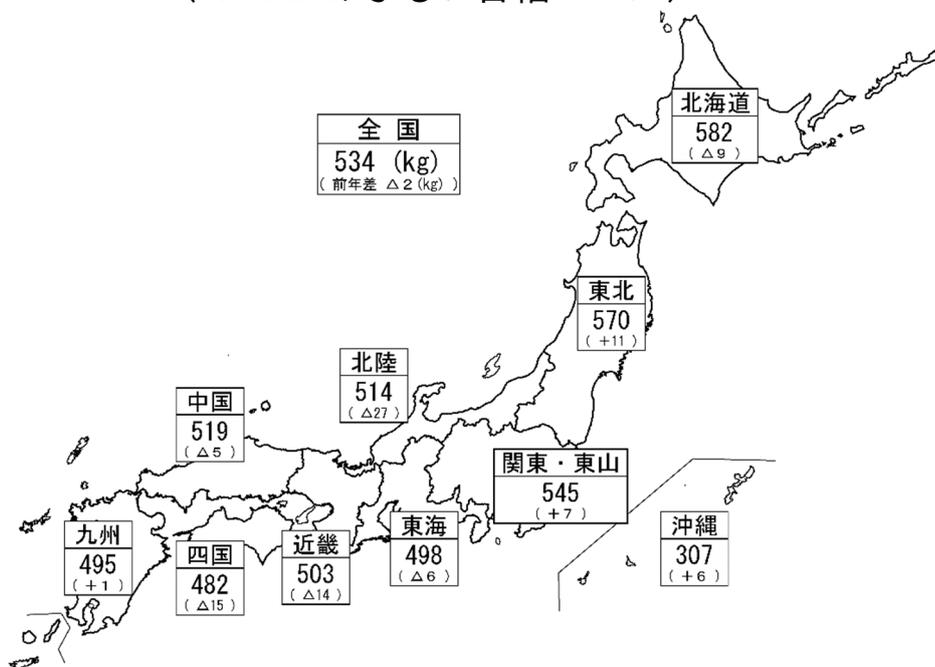
作物統計調査 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

－ 全国の10a当たり予想収量は534kgの見込み －

【調査結果の概要】

- 1 令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は153万1,000ha（前年産に比べ1万4,000ha減少）と見込まれる。うち主食用作付面積は124万2,000ha（前年産に比べ9,000ha減少）と見込まれる。
- 2 9月25日現在における全国の10a当たり予想収量は534kgと見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100と見込まれる。
これは、田植期以降、全国的に5月下旬から6月上旬にかけて日照不足で推移したものの、その後おおむね高温、多照で推移し天候に恵まれた地域がある一方で、6月から7月にかけての梅雨前線等による大雨や断続的な日照不足、7月から8月にかけての記録的な高温や少雨の影響が見込まれる地域があるためである。
- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は662万4,000t（前年産に比べ7万7,000t減少）と見込まれる。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量（9月25日現在）
（1.70mmのふるい目幅ベース）



- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 予想収穫量調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終わっていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移（全国）

年産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成15年産	1,670,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,704,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,709,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,692,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,678,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,637,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,637,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,657,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,632,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,641,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,647,000	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,639,000	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,623,000	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,611,000	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,600,000	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,592,000	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,584,000	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2	1,575,000	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,226,000	99
3	1,564,000	1,403,000	539	7,563,000	1,303,000	7,007,000	101
4	1,545,000	1,355,000	536	7,269,000	1,251,000	6,701,000	100
5 (概数値)	1,531,000	…	534	…	1,242,000	6,624,000	100

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量（令和5年産は予想）である。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 作況指数は、10 a 当たり年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までは、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

6 「…」は、未発表であることを示している。

【調査結果】

1 令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は153万1,000ha（前年産に比べ1万4,000ha減少）と見込まれる。

なお、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は124万2,000ha（前年産に比べ9,000ha減少）と見込まれる。

2 9月25日現在における水稻の地域別の10a当たり予想収量は、以下のとおりである。

北海道においては、田植期以降、天候に恵まれたことから、全もみ数が平年以上に確保されたことに加え、登熟も平年を上回ることが見込まれることから、582kg（平年に比べ+21kg）と見込まれる。

東北、関東・東山、中国及び四国においては、田植期以降、5月下旬から6月上旬にかけての日照不足の影響により、穂数は少なかったものの、その後の天候におおむね恵まれたことから東北は570kg（平年に比べ+2kg）、関東・東山は545kg（同+6kg）、中国は519kg（同+1kg）、四国は482kg（同±0kg）と見込まれる。

北陸、東海、近畿及び九州は、田植期以降の5月下旬から6月上旬にかけての日照不足の影響により、穂数が少なかったことに加え、6月から7月にかけての梅雨前線等による大雨や断続的な日照不足、7月から8月にかけての記録的な高温や少雨の影響が見込まれることから、北陸は514kg（平年に比べ△26kg）、東海は498kg（同△4kg）、近畿は503kg（同△5kg）、九州は495kg（同△6kg）と見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は534kg（平年に比べ△2kg）と見込まれる。

3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は662万4,000t（前年産に比べ7万7,000t減少）と見込まれる。

表 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量
（全国農業地域別）

全国農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり予想収量			主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③=①×②
	実数	前年産との比較		実数 ①	前年産との比較			
		対差	対比		対差	対差		
	ha	ha	%	kg	kg	kg	ha	t
全 国	1,531,000	△ 14,000	99	534	△ 2	△ 2	1,242,000	6,624,000
北 海 道	101,700	200	100	582	21	△ 9	82,200	478,400
東 北	403,200	△ 2,600	99	570	2	11	309,200	1,761,000
北 陸	208,300	△ 1,600	99	514	△ 26	△ 27	174,000	895,000
関 東・東 山	289,500	△ 2,100	99	545	6	7	227,500	1,242,000
東 海	96,900	△ 1,100	99	498	△ 4	△ 6	84,300	419,600
近 畿	99,300	△ 1,600	98	503	△ 5	△ 14	91,200	457,900
中 国	101,700	△ 1,800	98	519	1	△ 5	90,900	472,300
四 国	46,900	△ 1,100	98	482	0	△ 15	42,700	205,500
九 州	183,200	△ 2,300	99	495	△ 6	1	139,500	690,900
沖 縄	602	△ 50	92	307	△ 2	6	545	1,670

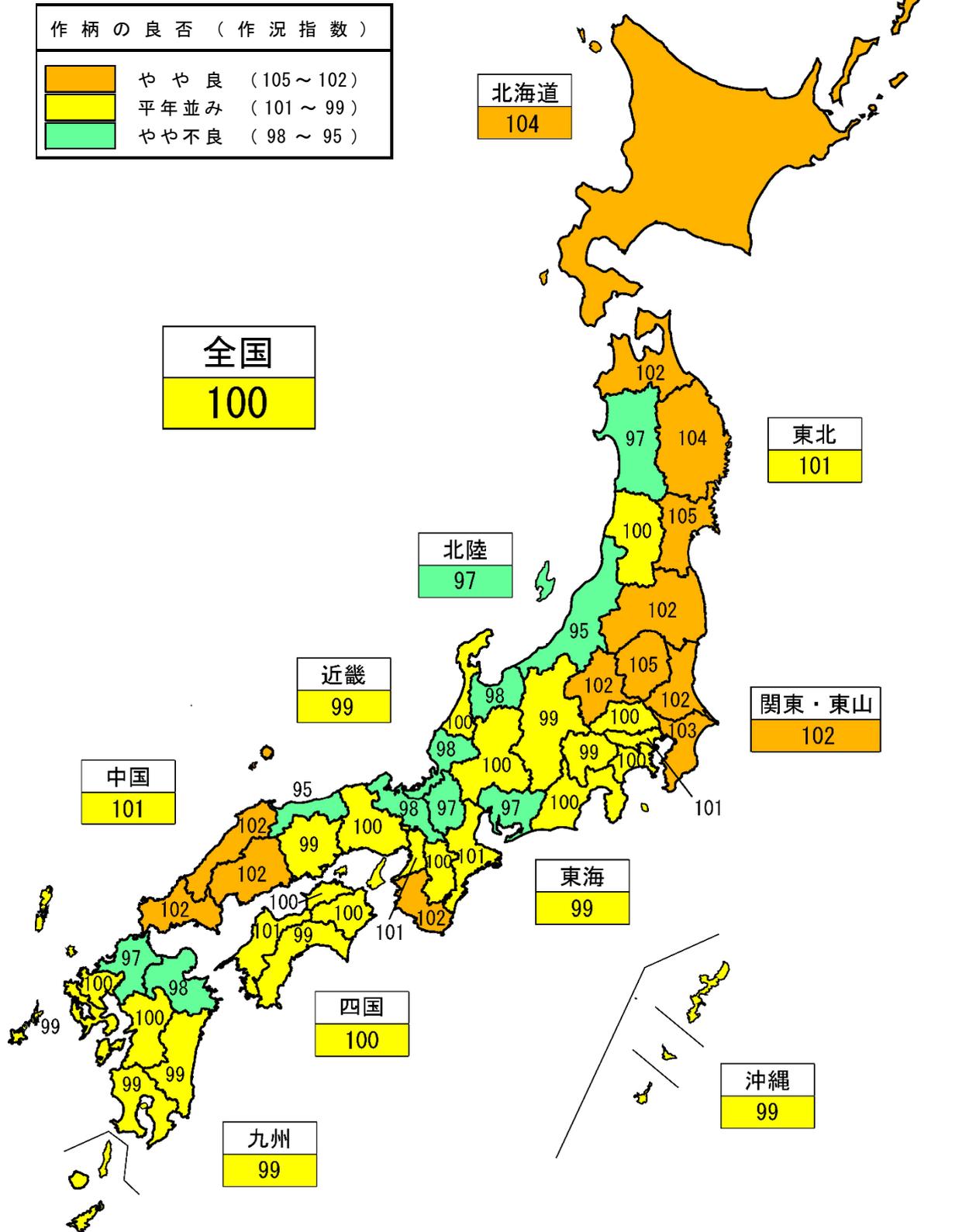
注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 10a当たり予想収量の平年との比較は、10a当たり平年収量との比較である。

4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用）の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（9月25日現在）
（農家等が使用しているふるい目幅ベース）



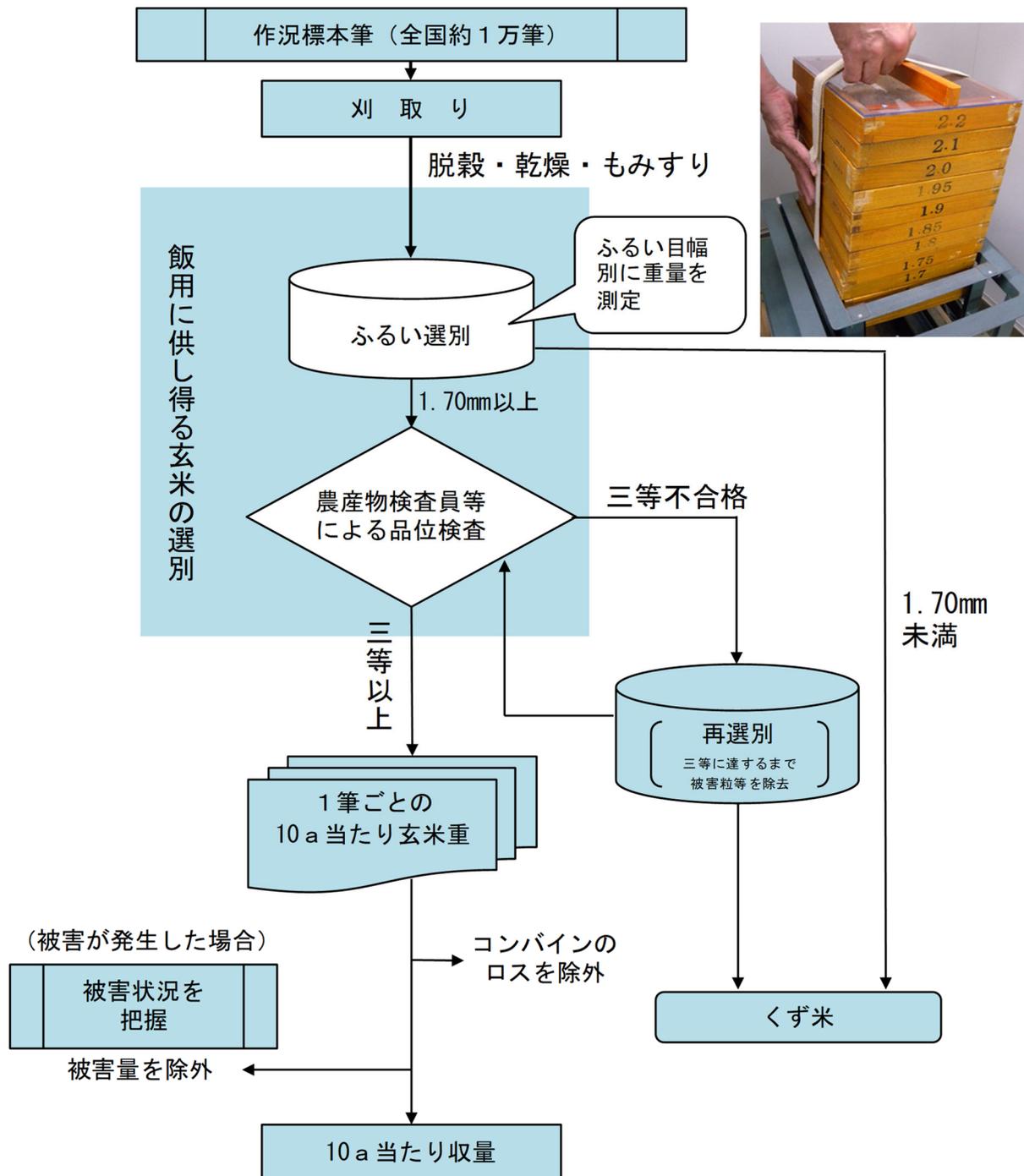
注：1 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出は、第一期稲の10a 当たり収量と第二期稲の10a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

【参考 1】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

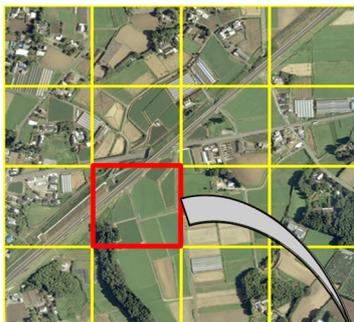


【参考2】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）^{ふで}は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約1万筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



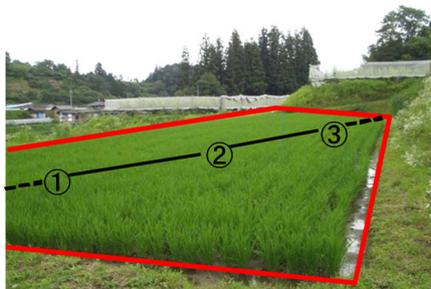
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040096984&ext=xls>

【調査の概要】

・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稲調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3

- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和6年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和5年11月上旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

- ・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3681

（直通）03-6744-2045

- ・予想収穫量に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



令和5年11月1日現在で、2023年漁業センサスを実施します。

(流通加工調査については令和6年1月1日現在)

【目次】

統計表

- 1 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量 …… 1
- 2 令和5年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月25日現在) …… 3

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数(下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前(原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値(統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「0」： 単位に満たないもの(例：0.4ha→0 ha) 又は増減がないもの
「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
「△」： 負数又は減少したもの
- 3 この資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載(令和6年2月予定)する。
- 4 予想収穫量調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
なお、次回(10月25日現在)の公表は、令和5年11月上旬の予定である。
- 5 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」(農林水産省)による旨を記載してください。

調査の概要

本調査の「調査の概要」は、農林水産省ホームページの「統計情報」の次のURLからご覧いただけます。

・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・作況調査(水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【統計表】

1 令和5年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

全 国 都道府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり 予想収量 ①	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数	前年産との比較			最も多い 使用割合 の目幅 ②	10a当たり 予想収量 ③	10a当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④
		対 差	対 比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,531,000	△ 14,000	99	534	…	514	512	100
北 海 道 (2)	101,700	200	100	582	1.90	559	535	104
青 森 (3)	49,300	△ 200	100	614	1.90	587	574	102
岩 手 (4)	53,300	△ 900	98	552	1.90	534	514	104
宮 城 (5)	73,500	△ 300	100	568	1.90	535	511	105
秋 田 (6)	88,500	△ 400	100	552	1.90	524	542	97
山 形 (7)	67,400	△ 500	99	589	1.90	564	566	100
福 島 (8)	71,300	△ 200	100	561	1.85	542	532	102
茨 城 (9)	74,300	△ 700	99	532	1.85	515	506	102
栃 木 (10)	68,600	0	100	556	1.85	540	515	105
群 馬 (11)	16,200	△ 300	98	506	1.80	491	482	102
埼 玉 (12)	32,200	△ 300	99	489	1.80	478	479	100
千 葉 (13)	59,200	△ 400	99	557	1.80	550	533	103
東 京 (14)	111	△ 4	97	419	1.80	409	404	101
神 奈 川 (15)	2,870	△ 20	99	496	1.80	474	475	100
新 潟 (16)	120,400	△ 700	99	512	1.85	503	527	95
富 山 (17)	37,800	△ 300	99	528	1.90	511	519	98
石 川 (18)	24,600	△ 300	99	518	1.85	508	509	100
福 井 (19)	25,500	△ 200	99	500	1.90	476	484	98
山 梨 (20)	4,790	△ 30	99	542	1.80	527	532	99
長 野 (21)	31,300	△ 300	99	613	1.85	594	599	99
岐 阜 (22)	24,500	△ 100	100	486	1.80	476	475	100
静 岡 (23)	16,500	△ 100	99	521	1.80	510	511	100
愛 知 (24)	28,000	△ 500	98	490	1.85	472	489	97
三 重 (25)	28,000	△ 300	99	501	1.85	483	478	101
滋 賀 (26)	30,600	△ 800	97	504	1.90	470	483	97
京 都 (27)	14,100	△ 200	99	498	1.85	482	492	98
大 阪 (28)	4,450	△ 100	98	502	1.80	485	478	101
兵 庫 (29)	36,000	△ 200	99	500	1.85	477	477	100
奈 良 (30)	8,350	△ 160	98	515	1.80	502	500	100
和 歌 山 (31)	5,790	△ 200	97	505	1.80	497	485	102
鳥 取 (32)	13,100	△ 200	98	489	1.85	471	495	95
島 根 (33)	17,700	△ 200	99	523	1.90	494	482	102
岡 山 (34)	30,100	△ 400	99	522	1.85	497	500	99
広 島 (35)	22,200	△ 600	97	533	1.85	520	508	102
山 口 (36)	18,600	△ 500	97	514	1.85	489	480	102
徳 島 (37)	11,000	△ 200	98	470	1.80	460	462	100
早期栽培 (38)	4,400	△ 30	99	450	1.80	439	453	97
普通栽培 (39)	6,610	△ 110	98	482	1.80	472	467	101
香 川 (40)	10,700	△ 500	96	497	1.80	480	479	100
愛 媛 (41)	13,400	△ 100	99	503	1.85	473	468	101
高 知 (42)	11,800	△ 300	98	454	1.80	442	446	99
早期栽培 (43)	6,870	△ 150	98	485	1.80	475	471	101
普通栽培 (44)	4,900	△ 200	96	415	1.80	401	413	97
福 岡 (45)	37,400	△ 300	99	483	1.85	444	456	97
佐 賀 (46)	25,300	△ 300	99	518	1.85	486	487	100
長 崎 (47)	11,700	△ 200	98	480	1.80	461	466	99
熊 本 (48)	40,800	△ 700	98	512	1.85	478	479	100
大 分 (49)	23,000	△ 300	99	489	1.80	466	475	98
宮 崎 (50)	22,800	△ 200	99	490	1.80	476	482	99
早期栽培 (51)	7,980	60	101	487	1.80	479	470	102
普通栽培 (52)	14,900	△ 200	99	492	1.80	474	489	97
鹿 児 島 (53)	22,200	△ 300	99	480	1.80	466	470	99
早期栽培 (54)	6,460	△ 80	99	469	1.80	459	449	102
普通栽培 (55)	15,700	△ 300	98	483	1.80	468	477	98
沖 縄 (56)	602	△ 50	92	307	1.80	300	302	99
第一期稲 (57)	451	△ 20	96	350	1.80	345	355	97
第二期稲 (58)	151	△ 30	83	…	1.80	…	155	…

注：1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 ③10a当たり予想収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
 3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用）の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

主食用作付面積 ⑥	予想収穫量（主食用） ⑦=①×⑥	作柄概況（平年比較）				登熟の良否
		穂数の多少	1穂当たりの もみ数 多 少	全もみ数 の 多 少	登熟の良否	
ha	t	(1)
1,242,000	6,624,000	(2)
82,200	478,400	やや多い	平年並み	やや多い	やや良	(3)
33,800	207,500	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(4)
42,800	236,300	少ない	多い	やや少ない	良	(5)
57,200	324,900	やや少ない	多い	やや多い	やや良	(6)
69,900	385,800	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(7)
52,400	308,600	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(8)
53,100	297,900	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	(9)
57,800	307,500	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(10)
47,200	262,400	やや少ない	平年並み	平年並み	良	(11)
12,400	62,700	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	(12)
27,500	134,500	平年並み	平年並み	やや少ない	やや良	(13)
45,800	255,100	少ない	やや多い	やや少ない	良	(14)
111	465	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	(15)
2,850	14,100	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	(16)
100,600	515,100	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(17)
31,200	164,700	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	(18)
20,800	107,700	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(19)
21,500	107,500	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(20)
4,660	25,300	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(21)
29,300	179,600	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(22)
19,700	95,700	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(23)
15,000	78,200	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(24)
24,700	121,000	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(25)
24,900	124,700	やや少ない	多い	やや多い	平年並み	(26)
27,000	136,100	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良	(27)
13,200	65,700	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(28)
4,430	22,200	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	(29)
32,500	162,500	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(30)
8,200	42,200	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	(31)
5,780	29,200	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(32)
11,700	57,200	少ない	やや多い	少ない	やや良	(33)
15,900	83,200	やや少ない	多い	平年並み	やや良	(34)
26,900	140,400	少ない	多い	やや少ない	やや良	(35)
20,500	109,300	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	(36)
16,000	82,200	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(37)
9,480	44,600	(38)
...	...	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(39)
...	...	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(40)
10,100	50,200	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	(41)
12,800	64,400	やや少ない	平年並み	少ない	良	(42)
10,200	46,300	(43)
...	...	やや多い	多い	多い	不良	(44)
...	...	やや少ない	やや少ない	やや少ない	平年並み	(45)
32,300	156,000	少ない	平年並み	少ない	やや良	(46)
21,700	112,400	少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(47)
10,000	48,000	少ない	多い	やや少ない	やや良	(48)
28,900	148,000	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(49)
18,100	88,500	少ない	やや多い	少ない	やや良	(50)
12,700	62,200	(51)
...	...	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	(52)
...	...	平年並み	少ない	少ない	やや良	(53)
15,800	75,800	(54)
...	...	やや少ない	やや多い	やや少ない	良	(55)
...	...	少ない	平年並み	少ない	やや良	(56)
545	1,670	(57)
...	...	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(58)
...	(59)

4 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を作期別に行っており県平均を取りまとめているため、「…」で示している。

